



TITLE:

静脩 Vol. 12 No. 2 (1976.3) [全文]

AUTHOR(S):

CITATION:

静脩 Vol. 12 No. 2 (1976.3) [全文]. 静脩 1976, 12(2)

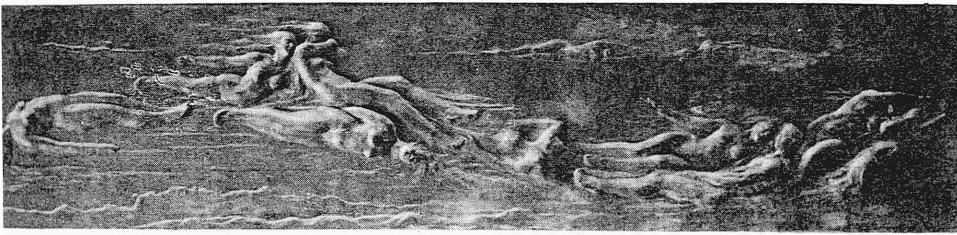
ISSUE DATE:

1976-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/65954>

RIGHT:



研究者の情報要求と利用に関する調査 の京都大学分集計結果について

京都大学附属図書館長 林 良 平

昨年5月、国立大学図書館協議会・学術情報流通に関する特別委員会（委員長 京都大学図書館）が、委員の5館（京都大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、神戸大学）を対象として標記の調査を実施しました。趣旨は申すまでもなく、最近の世界的な学術情報の量的増加と質的多様化に対応して、大学図書館が、研究者へのサービスをどう果して行けるかを問うとともに、図書館のあり方を考えて行く手がかりを得たいということであります。

幸いこの調査は本学においても、各研究者のご協力をいただき、75%という高い回収率を得ましたことを紙面をかりて御礼申し上げます。5大学全体の集計結果は、とりあえず昨年6月各部長あて送付いたしました。ここでは京都大学のみを集計結果をご報告いたします。

この集計表は項目毎に、人文・社会科学系と自然科学系を上下2段に示しました。これを見ますと、両分野の数値にかなり顕著な相違のあることが分ります。たとえば、情報源別重要度、寿命をはじめとし、探索、入手さらには図書館のサービス等各項目にわたってこの違いは見られるわけです。

予想されたことではありますが、なかでも図書と雑誌の両分野でのウェートの相違は明瞭に出ており、今後大学図書館（室）は、必ずしも一律的なサービスでなく、取扱う資料により、図書館（室）の性格により、重点的なきめ細かい方向づけが必要であろうと考えられます。ともあれ、そういったデータを確認するためにも、この集計表以上にさらに詳しい領域別の数字が必要でありますので、今後の課題といたしたいと思います。

集 計 表

表中の数字は専門領域（問4）に関しては回答数、その他はすべて百分比（原則として回答数 / 回答総数 × 100）で示した。

なお、各欄とも上段には人文・社会科学領域、下段には自然科学領域の数値を記入した。

* 回答者総数：人文・社会科学	220人
自然科学	1,612人

I 年 令，専 門 領 域 など

1. (年齢) : あなたの年齢を該当する欄から選んで下さい。

25才以下	26～30才	31～35才	36～40才	41～45才	46～50才	51～55才	56～60才	61才以上
0.90	12.72	14.09	11.81	24.09	13.18	10.00	8.18	5.00
1.24	13.02	25.00	18.85	16.25	13.15	7.25	3.59	1.61

2. (職名) : あなたの職名を該当する欄から選んで下さい。

教 授	助 教 授	専任講師	助 手	そ の 他
33.63	35.00	1.81	25.90	3.63
21.46	21.71	6.14	49.13	1.55

3. (職務内容) : あなたの職務内容* について次の項目のうち、あなたが現在最も多く時間を費しているものから順位を1位，2位，3位……とマークをつけて下さい。なお，該当のないものはマークしないで下さい。（* 研究者としての活動の全部を含みます）

順位 \ 職務	授 業	研 究	研究指導・助言	管理的業務	そ の 他
1	15.90	71.36	2.72	5.90	4.09
	4.34	71.21	13.95	4.52	4.90
2	36.81	15.45	19.54	10.90	5.90
	16.19	16.50	47.82	10.73	4.83
3	19.09	6.36	37.27	9.09	5.00
	29.96	7.25	19.04	19.78	9.73
4	5.45	1.36	12.27	27.72	5.90
	13.33	2.79	5.83	28.41	11.91
5	1.36	1.36	0.45	2.72	27.27
	5.58	0.24	0.86	6.20	27.60

4. (専門領域) : あなたの専門領域を次の表から選んで下さい。なお、直接該当するものがない場合は、最も近いものを選んで下さい。

人文・社会科学	8	哲学	13	教育学	12	英語・英文学(含アメリカ語・アメリカ文学)	1	社会法学(労働法、社会保障法、経済法等)
	2	中国哲学	5	文化人類学(含民族学・民俗学)	8	仏語・仏文学	3	刑事法学
	2	印度哲学(含仏教学)	14	日本史	8	独語・独文学	3	政治学
	2	宗教学	15	東洋史	5	その他外国語・外国文学	12	経済学一般理論
	3	倫理学	11	西洋史	3	言語学(含音声学)	1	統計学
	1	美学(含芸術諸学)	2	考古学(含先史学)	2	文学一般(含文学論・比較文学・西洋古典)	12	経済事情及び政策学
	3	美術史	2	国語学	2	基礎法学	5	経済史
	16	心理学	3	国文学	8	公法学	2	財政学・金融論
自然科学	8	社会学	6	中国語・中国文学	10	民事法学	5	商学・経営学
	65	数学	74	電気工学	18	農業経済学	3	会計学
	17	天文学	0	造船学	20	農業工学	30	医学一般(含病院管理学・看護学・人類遺伝学)
	126	物理学	109	土木工学	16	畜産学	0	家政学
	51	地球物理学	55	建築学	0	蚕糸学	0	科学技術史
	103	化学	14	鉱山学	38	生理系基礎医学	7	体育学
	64	生物学	25	金属工学	30	病理系基礎医学	34	生物化学
	12	地質学	111	応用化学	14	社会医学	10	放射線生物学
	4	鉱物学	35	農学	75	内科系臨床医学	59	原子力学
	12	人類学	69	農芸化学	68	外科系臨床医学	3	自然地理学
	29	応用物理学	53	林学	7	歯学	25	生物物理学
	69	機械工学	21	水産学	35	薬学	5	人文地理学

5. (研究場所) : あなたの研究の場所について、次の項目のうち、時間の多いものから順位を1位、2位、3位……とマークして、該当のないものはマークしないで下さい。

場所 順位	研究室	実験室(研究室を兼ねているものや診療の場所等も)	図書館(学科図・部局図・センター等を含む)	自宅	その他*
1	43.18	3.63	0.90	52.27	0.45
	64.14	30.59	0.18	3.41	1.55
2	48.18	2.27	4.09	37.72	1.81
	22.58	37.34	5.39	24.19	62.0
3	4.09	1.36	40.00	5.45	12.27
	1.48	7.81	25.31	34.18	12.90
4	0.00	1.36	7.27	0.45	20.00
	0.68	3.34	22.08	14.39	13.83
5	0.45	0.90	1.36	0.00	1.36
	0.18	1.24	12.03	4.21	13.83

* 野外調査、共同研究の場所が学外の場合など。

Ⅱ 情 報 源

6. (情報源別重要度) : あなたの研究上, 下記の各情報源の重要度について, それぞれ項目ごとに該当の数字を1つずつ選んで下さい。

情 報 源	非常に重要	重 要	重要でない	無 回 答
図 書	9 4.5 4 6 1.9 7	4.5 4 3 4.0 5	0.0 0 1.2 4	0.9 0 2.7 2
雑誌論文 (リプリントを含む)	8 4.5 4 9 3.9 2	1 2.2 7 5.0 8	1.3 6 0.5 5	1.8 1 0.4 3
学位論文	1 4.0 9 1 0.8 5	3 8.6 3 4 4.4 7	3 7.7 2 3 9.0 1	9.5 4 5.6 4
プレプリント (草稿を含む)	7.2 7 2 1.7 7	2 9.0 9 4 3.3 0	5 0.0 0 2 9.0 3	1 3.6 3 5.8 9
テクニカル・レポート*	9.0 9 2 1.0 9	2 0.9 0 4 3.7 3	5 3.6 3 2 9.2 8	1 6.3 6 5.8 9
学会等での報告 (書) (レクチャーノート会議議事録を含む)	1 6.8 1 3 7.7 7	5 1.3 6 4 8.7 5	2 1.8 1 9.1 8	1 0.0 0 4.2 8
調査報告書・統計データ類 (カルテはここに含める)	2 9.0 9 1 7.9 9	2 8.1 8 3 1.2 0	3 0.9 0 4 4.1 0	1 1.8 1 6.6 9
文書・記録・口承等の資史料	3 4.0 9 5.2 1	2 8.6 3 1 8.3 6	2 7.7 2 6 8.5 4	9.5 4 7.8 7
他の研究者とのディスカッション	4 5.9 0 5 4.9 6	4 1.8 1 3 6.7 2	6.3 6 4.2 1	5.9 0 4.0 9
私的なコミュニケーション (手紙・電話等)	2 1.8 1 2 1.5 2	4 0.9 0 4 9.5 0	2 6.3 6 2 2.7 6	1 0.9 0 6.2 0
索 引 誌	3 2.7 2 2 0.5 9	4 0.9 0 4 6.8 3	1 5.9 0 2 5.8 0	1 0.4 5 6.7 6
抄 録 誌	9.5 4 2 4.5 0	3 9.5 4 4 7.1 4	3 7.7 2 2 2.3 3	1 3.1 8 6.0 1
目録・雑誌	3 4.0 8 8.0 0	4 6.8 1 3 8.9 5	1 0.9 0 4 5.9 0	8.1 8 7.1 3
総説・展望 (レビュー)	2 5.9 0 3 5.9 8	4 4.0 9 4 6.8 3	1 9.0 9 1 1.9 1	1 0.9 0 5.2 7
雑誌目次集 (カレント・コンテンツ等)	2 8.6 3 2 2.3 3	4 0.9 0 4 5.1 6	1 9.0 9 2 5.6 2	1 1.3 6 6.8 8
その他 (具体的に書いて下さい)	5.4 5 3.5 3	3.1 8 4.4 0	2 0.0 0 2 5.2 4	7 1.3 6 6 6.8 1

* テクニカル・レポート : 科学技術文献のうち, 一冊一論文形式で刊行されるもの。機関団体によってその研究活動報告として刊行されることが多い。

7. (目的別重要度) : 次のような目的に対して, あなたの場合, 有効な情報源となるものを右の欄から, それぞれ3つ以内選んで, 該当の場所にマークして下さい。「その他」は内容をお書き下さい。

情報源 目 的	図 書	雑 誌 論 文	学 位 論 文	プレプ リント	テクニ カルレ ポート	学会等 での報 告(書)	調査報 告書・ 統計デー タ類	文書・ 記録・ 口承 資料	他の研 究者との ディスカ ッション	私的な コミュニ ケーション	索引誌	抄録誌	目録・ 書 誌	総 説 展 望	雑誌目 次 集	その他
自分の研究分野の現状	74.54	88.18	7.72	3.18	5.00	26.36	4.09	2.72	22.72	6.36	4.54	5.00	10.90	15.00	5.90	0.90
を知っておくために	32.81	90.94	5.02	14.54	9.42	52.79	3.72	0.80	20.03	5.89	6.26	15.38	1.73	26.42	9.05	0.62
誰がどのような研究を	41.81	75.00	8.63	5.90	4.54	37.72	2.27	1.36	23.63	10.00	12.72	9.09	21.36	14.54	19.09	0.54
しているかを知るために	12.96	77.60	8.06	15.38	6.76	65.19	1.98	1.05	17.49	8.49	12.59	23.94	2.72	18.79	15.07	0.49
有用なアイデア・ヒント・データを	58.18	65.00	4.54	4.09	5.00	18.63	13.63	11.81	46.81	18.63	3.63	3.18	4.54	3.63	1.81	1.81
得るために	35.85	67.05	5.45	10.17	14.14	33.31	9.42	3.28	51.42	18.30	2.17	6.57	0.62	16.12	2.29	1.67
関連分野についてひろ	71.81	64.54	3.63	1.36	3.18	21.36	3.63	5.45	21.81	10.00	6.36	5.45	9.09	19.54	5.90	0.90
く知識を得るために	69.29	52.66	3.41	3.84	4.96	30.95	4.71	2.48	15.57	5.83	5.70	18.05	3.66	48.63	6.88	0.55
自分の研究を他に知ら	32.27	83.63	3.18	4.09	2.27	55.45	1.81	1.36	27.27	11.81	0.90	1.36	1.81	3.63	1.81	0.45
せるために	5.21	84.55	4.28	15.69	6.14	72.02	3.47	0.49	25.00	10.54	0.68	5.39	0.24	7.94	1.05	0.37
ブラウジング(明確な意	64.54	53.63	2.72	0.45	0.00	5.45	4.54	7.72	19.09	13.18	3.18	5.45	5.90	10.45	9.09	0.45
図なしに本をあさり読	57.44	38.15	1.98	2.85	4.77	15.50	4.21	4.59	13.08	5.64	4.59	13.39	6.07	31.26	9.05	1.11
むこと)/ 刺戟を得る																
ために																
その他(具体的に書いて	3.18	1.36	0.45	0.00	0.45	0.00	0.90	0.90	0.00	0.45	0.45	0.45	0.90	1.36	0.45	0.90
下さい)	2.60	2.29	0.37	0.12	0.37	0.93	0.99	0.68	1.11	1.36	0.74	0.68	0.37	1.42	0.43	1.17
合 計	346.33	431.34	30.87	19.07	20.44	164.97	30.84	31.32	161.33	70.43	31.78	29.98	54.50	68.15	44.05	5.86
	216.16	413.24	28.57	62.62	46.56	270.69	28.50	13.37	143.70	56.05	32.73	83.40	15.41	150.58	43.82	5.98

8. (寿命) : あなたの研究上有用な情報は、主として過去何年位までのものですか。次の情報源ごとに該当の数字を1つずつ選んで下さい。なお、利用しないものはマークしないで下さい。

情 報 源	1年以内	3年以内	5年以内	10年以内	11年以上	無 回 答
図 書	2.27	1.81	7.72	17.27	69.54	1.36
	1.36	5.64	19.85	37.84	34.05	1.24
雑 誌	5.90	4.09	15.00	18.63	54.54	1.81
	3.53	15.57	27.35	26.92	25.55	1.05
学 位 論 文	3.63	4.09	9.09	12.27	33.18	37.72
	5.64	14.20	23.63	15.32	11.60	29.59
プ レ プ リ ン ト	14.54	12.72	6.36	2.27	12.27	51.81
	34.61	25.24	12.34	3.03	1.55	23.20
テクニカル・レポート	9.54	11.36	8.18	2.72	11.81	56.36
	11.10	24.00	21.46	9.98	5.70	27.72
学会等の報告(書)	12.72	19.09	15.90	6.81	23.18	22.27
	24.75	32.69	20.28	8.99	6.26	7.00
調査報告書・統計データ類	5.00	5.90	9.54	8.63	35.45	35.45
	6.51	13.08	14.20	10.98	16.37	38.83
文書・記録・口承等資料	1.81	2.27	4.09	5.00	55.00	31.36
	3.59	6.38	7.81	6.94	20.47	54.77
二次資料(索引・抄録誌等)	5.90	3.63	9.09	10.90	47.27	23.18
	11.60	13.89	15.38	15.44	22.20	21.46

9. (出所) : あなたは必要な情報をどこから得ていますか。次の項目のうちから主なものを5つ以内選んで下さい。

文献のレファレンス（引用・注等）から	雑 誌	9 5.0 0	グループによる 情報収集活動から	所属大学内のグループ	1 6.8 1
		9 6.9 6			1 7.6 1
	図 書	8 7.7 2		他 大 学 の グ ル ー プ	1 2.7 2
		6 6.6 2			1 1.6 0
	プレプリントその他	8.18		上記以外のグループ	6.3 6
抄録誌・索引誌 等から	自分の専門分野のもの	2 5.9 3	図書館（室・センター）のサービスから	新 着 資 料 ニ ュ ー ス	20.90
		4 7.7 2		コンテンツ・シート・サービス	1 5.3 8
	6 3.5 8	参 考 業 務		7.27	
	1 2.2 7			1 1.4 1	
	2 4.1 9			3.18	
学会・研究集会 等で	所属大学の人より	1 9.5 4	図書館（室・センター）の資料から	目 録 カ ー ド	3 3.1 8
		2 0.2 2		8.00	
	他 大 学 の 人 より	4 5.0 0		書 庫 検 索	3 4.5 4
		5 8.4 9			7.3 8
	大学以外の人より	6.8 1		ブ ラ ウ ジ ン グ	1 5.0 0
		1 3.5 8	9.6 1		
			そ の 他	2.2 7	
				2.2 9	

Ⅲ 情報源の探索と入手

10. (探索) : a. あなたは必要な情報を探索することの困難度について、どう考えていますか。該当の数字を1つ選んで下さい。(なお、入手の困難度については問12でお答え下さい。)

非常に困難	やや困難	困難でない
6.8 1	5 7.7 2	3 7.1 8
4.4 6	5 8.5 6	3 5.9 8

- b. 「非常に困難」・「やや困難」と答えた方は、その主な理由を2つ以内選んで下さい。

情報が多すぎて有効なものの選択がしにくい	1 8.1 8 3 1.9 4
適切なツール(とくに2次資料)がない, また持っていない	2 8.1 8 1 8.6 7
ツールはあるが, 適切でない, または使いにくい	1 5.4 5 1 0.7 9
探索のための時間がない	2 5.9 0 3 1.6 3
そ の 他(具体的に書いて下さい)	6.3 6 2.6 6

- 11 (入手一経路) : あなたは必要な情報源を主にどこで入手(利用)していますか。次の情報源ごとに数字をそれぞれ3つ以内選んで下さい。なお、利用しない情報源についてはマークしないで下さい。

場 所 情報源	図書館等に現に所蔵されているものを利用することが多い					必要に応じ校費で新たに購入することが多い	そ の 他 (私費購入, 個人的提供を受ける等)
	所 属 大 学			他大学の図書館(室)	大学以外の機関		
	教室(学科)図書室	部局図書館(分館)	中 央 図 書 館				
図 書	3 3.1 8	7 4.0 9	1 9.5 4	1 3.1 8	9.5 4	4 2.2 7	6 8.1 8
	6 8.2 3	4 0.9 4	6.6 3	5.8 9	3.2 8	4 8.9 4	5 6.2 0
雑 誌	3 6.8 1	7 4.0 9	2 1.3 6	2 1.8 1	1 2.7 2	2 1.3 6	5 1.8 1
	7 5.0 6	5 8.0 6	7.9 4	1 8.9 2	8.6 2	1 6.3 7	3 6.3 5
学 位 論 文	1 2.7 2	2 9.0 9	1 1.3 6	1 3.1 8	4.5 4	5.9 0	1 4.5 4
	2 6.7 9	1 4.5 4	5.2 1	6.3 8	3.6 6	3.7 2	2 2.5 0
プレプリント	7.7 2	1 0.0 0	3.6 3	3.1 8	6.8 1	2.7 2	1 8.1 8
	1 8.3 0	1 1.4 7	1.8 6	3.4 7	6.8 2	8.1 2	4 3.1 1
テクニカル・レポート	8.6 3	1 5.0 0	5.4 5	4.0 9	4.0 9	5.4 5	1 5.9 0
	2 5.5 5	2 0.4 7	2.3 5	5.1 4	1 0.7 3	1 2.5 3	2 6.6 1
学会等の報告(書)	1 5.0 0	2 5.0 0	6.8 1	5.9 0	8.6 3	7.2 7	3 6.3 6
	3 4.3 0	1 9.9 1	2.1 0	3.4 7	5.8 3	1 6.0 0	6 3.9 5
調査報告書・統計データ類	1 2.7 2	3 6.8 1	1 2.7 2	1 0.4 5	1 1.8 1	9.5 4	2 1.3 6
	2 3.0 1	1 8.6 7	5.3 3	3.7 2	1 1.7 8	9.8 6	1 9.0 4
文書・記録・口承等資料	1 2.7 2	3 4.0 9	1 7.2 7	1 2.7 2	1 4.5 4	1 0.9 0	2 1.3 6
	1 4.2 6	1 2.8 4	6.7 6	2.4 8	5.8 9	4.2 1	1 0.6 6
二次資料(索引・抄録誌等)	2 1.3 6	4 7.7 2	2 6.8 1	5.9 0	7.7 2	9.0 9	2 0.9 0
	4 4.8 5	3 6.4 1	8.4 3	3.4 7	3.7 2	6.9 4	9.9 8

12. (入手一困難度) :

- a. あなたが探索した文献を入手する場合、どの程度困難を感じますか。次の情報源ごとに該当の数字をそれぞれ1 つずつ選んで下さい。

情 報 源	非常に 困難	ときどき困難 を感じる	困難を感じな い	無 回 答
図 書	5.0 0	7 6.3 6	1 7.7 2	0.9 0
	8.7 4	5 9.1 1	3 0.1 4	1.9 8
雑 誌	6.8 1	7 3.6 3	1 7.7 2	1.8 1
	2.7 2	6 2.9 0	3 3.0 0	1.3 6
学 位 論 文	1 4.5 4	2 4.5 4	1 4.5 4	4 6.3 6
	2 0.3 4	2 5.7 4	2 4.2 5	2 9.6 5
プ レ プ リ ン ト	1 4.5 4	1 5.0 0	1 0.9 0	5 9.5 4
	1 6.5 0	3 1.5 1	2 2.3 9	2 9.5 9
テクニカル・レポート	6.8 1	2 0.9 0	8.1 8	6 4.0 9
	1 2.6 5	3 6.2 9	1 8.7 9	3 2.2 5
学会等の報告 (書)	6.8 1	3 2.2 7	2 8.6 3	3 2.2 7
	5.2 1	3 2.8 1	4 8.8 2	1 3.1 5
調査報告書・統計データ類	9.0 9	4 4.0 9	5 5.9 0	4 0.9 0
	1 0.7 9	3 1.2 6	1 4.4 5	4 3.4 8
文書・記録・口承等資史料	2 0.0 0	3 7.7 2	5.4 5	3 6.8 1
	9.1 1	1 9.3 5	1 3.8 9	5 7.6 3
二次資料(索引・抄録誌等)	5.4 5	4 2.2 7	1 9.5 4	3 2.7 2
	5.5 2	2 2.6 0	3 9.3 3	2 7.5 4

- b. 「非常に困難」、「ときどき困難を感じる」と答えた方は、その主な理由を該当の情報源ごとに2 つ以内を選んで下さい。

情 報 源	所属の部局(数 室)図書室にない	所属大学内 にない	国内にない	所在不明	そ の 他
図 書	3 5.0 0	4 9.5 4	3 0.9 0	9.5 4	1.8 1
	3 9.8 8	2 8.9 0	1 3.3 9	1 2.7 7	1.9 8
雑 誌	2 7.2 7	5 0.4 5	3 2.7 2	6.8 1	2.2 7
	3 2.9 4	3 5.4 2	1 5.3 8	7.1 3	1.3 0
学 位 論 文	1 2.2 7	1 9.0 9	1 7.7 2	6.8 1	1.8 1
	1 4.2 0	1 5.0 1	1 7.2 4	1 2.7 7	2.6 0
プ レ プ リ ン ト	8.6 3	1 4.0 9	7.7 2	9.0 9	2.2 7
	1 7.8 6	1 5.1 9	1 3.2 1	1 4.0 1	2.9 1
テクニカル・レポート	1 0.9 0	1 3.6 3	9.0 9	3.6 3	1.3 6
	1 7.3 0	1 8.3 0	1 4.2 0	1 2.7 1	1.5 5
学 会 等 の 報 告 (書)	1 2.7 2	2 1.3 6	1 0.0 0	7.7 2	0.9 0
	1 7.4 9	1 5.0 7	7.0 7	6.7 6	1.6 7
調査報告書・統計データ類	1 5.4 5	3 1.8 1	1 4.5 4	1 1.8 1	1.3 6
	1 5.5 7	1 6.4 3	6.3 2	1 5.1 9	2.7 2
文書・記録・口承等資史料	1 7.2 7	3 0.4 5	2 0.4 5	1 2.7 2	0.9 0
	1 0.3 5	1 0.1 1	3.7 2	1 1.5 3	1.8 6
二次資料(索引・抄録誌等)	1 6.8 1	2 3.6 3	1 1.8 1	9.5 4	3.1 8
	1 6.7 4	1 1.5 3	2.6 6	5.7 6	3.3 4

13. (入手一雑誌) :

- a あなたの新着雑誌(抄録誌・索引誌を除く)をつねに何種類ほど通覧(Scanning)および精読(Reading)していますか。

該当の数字を1つ選んで下さい。

区 分	5 種以下	6~10 種	11~20 種	21 種以上
通 覧 誌	4 2.7 2	3 5.9 0	1 5.4 5	5.4 5
	2 6.3 0	4 3.6 7	2 3.2 6	6.4 5
通 読 誌	8 1.8 1	1 3.1 8	0.9 0	0.4 5
	7 7.1 7	1 8.1 7	2.4 1	0.4 3

- b. あなたは学術雑誌の通覧および精読に週平均何時間程度あてていますか

区 分	(週) 5 時間以内	10 時間以内	15 時間以内	16 時間以上
通 覧	6 2.7 2	2 5.9 0	5.4 5	1.8 1
	6 2.5 9	2 6.6 7	5.8 3	2.7 2
精 読	4 6.3 6	2 8.1 8	1 1.8 1	6.8 1
	3 2.5 6	3 9.4 5	1 7.6 1	7.1 9

15. (探索・入手漏れ) :

- a. あなたがつねに通覧している雑誌や入手している文献以外に、有用な雑誌や文献がどの程度出ていると思いますか。

該当の数字を1つ選んで下さい。

多 い	ある程度(若干)	少 な い
4 0.0 0	4 2.2 7	1 5.0 0
2 7.7 2	5 2.7 9	1 6.7 4

- b. 「多い」, 「ある程度(若干)」と答えた方は、文献情報の探索についてどの程度の時間と手間をかけていますか。

該当の数字を1つ選んで下さい。

十分時間をかけている	ほどほどで打切る	とくに努力していない
1 3.1 8	5 6.8 1	1 1.8 1
5.8 9	5 9.3 0	1 5.3 2

- c. 「ほどほどで打切る」, 「とくに努力していない」と答えた方は, その主な理由を1つ選んで下さい。

必要だと思うが時間をとりすぎる	必要だと思うが資料が不備	必要ない	その他
3 9.0 9	2 0.4 5	6.8 1	1.8 1
4 9.0 6	1 8.1 7	5.3 9	2.1 0

Ⅳ 大学図書館のサービス

16. (サービス状況): あなたの所属大学の図書館(室)および所属大学の文献センター等のサービスについておたずねします。

- a. 下記の表の各項のサービスを主としてどの図書館(室)で受けていますか。該当を各1つ選んで下さい。

図書館(室)別 サービス事項	教室・研究室 図 書 室	学科・学系 図 書 室	部局図書 室(館)	分 館	中 央 図 書 館	そ の 他 (センター等)	受けて いない
新着図書雑誌リストの作成・配布	6.3 6 2 4.0 6	1.3 6 8.8 7	4 2.2 7 1 5.6 9	1.3 6 0.2 4	1.3 6 0.4 3	5.4 5 1.9 2	3 5.0 0 4 3.0 5
新着雑誌の目次集(コンテンツシート)の作成・配布	4.0 9 1 3.0 8	0.9 0 6.2 6	1 5.4 5 1 3.7 0	0.4 5 0.3 1	1.8 1 0.5 5	9.5 4 2.8 5	5 3.1 8 5 6.2 6
必要資料を他機関から取寄せる (複写を含む) 一国内	3.6 3 1 0.4 8	1.3 6 5.5 2	1 4.5 4 2 4.1 9	0.4 5 1.4 2	1 7.2 7 6.5 1	1 0.0 0 7.1 9	3 7.7 2 3 6.7 8
” ” 一国外	4.0 9 7.9 4	0.9 0 2.6 0	1 0.0 0 1 0.2 3	0.4 5 0.4 3	9.5 4 2.0 4	7.7 2 8.3 7	4 8.6 3 5 7.6 3
題名や著名のわかっている文献 の所在調査	3.6 3 1 6.5 0	1.3 6 1 0.2 9	2 5.0 0 2 3.0 1	0.4 5 0.9 9	1 3.6 3 7.1 3	3.1 8 2.4 8	3 8.6 3 3 1.2 6
手持ち文献の複写	2 0.9 0 3 7.7 1	3.1 8 6.6 9	1 4.5 4 1 3.0 2	0.4 5 0.2 4	4.0 9 0.6 8	6.8 1 3.4 7	3 7.2 7 3 1.3 8
知りたいと思っている事項につ いての文献の探索	6.3 6 1 2.7 1	0.9 0 7.5 0	2 3.6 3 1 4.5 1	0.4 5 0.6 8	9.5 4 3.0 3	3.1 8 2.5 4	4 3.1 8 5 0.3 1
学術論文索引の作成・配布	2.2 7 4.9 6	0.9 0 2.1 0	7.2 7 3.7 2	0.4 5 0.0 0	0.0 0 0.5 5	7.7 2 3.7 8	5 9.0 9 7 1.7 1
文献情報の迅速・組織的な検索 サービス(電算機等)	0.9 0 1.9 8	0.4 5 0.8 0	4.5 4 1.6 7	0.0 0 0.0 0	0.4 5 0.4 9	3.1 8 3.7 2	6 7.2 7 7 7.3 5
そ の 他	2.2 7 2.3 5	0.9 0 1.1 1	3.1 8 2.2 9	0.0 0 0.1 2	0.4 5 0.1 2	0.0 0 0.9 9	2 5.9 0 2 9.5 2

- b. あなたが現在受けている図書館サービスは十分だと思いますか。該当の数字をマークして下さい。サービスを受けていない場合はマークしないで下さい。

サ ー ビ ス 事 項	十	分	普 通	十分でない	無 回 答
新着図書雑誌リストの作成・配布	1 6.3 6	1 7.3 0	2 0.4 5	2 7.7 2	3 5.4 5
			2 3.3 2	2 8.4 7	3 0.8 9
新着雑誌の目次集 (コンテンツシート)の作成・配布	1 1.8 1	1 4.3 9	1 2.2 7	2 9.0 9	4 6.8 1
			1 6.8 7	3 1.2 6	3 7.4 6
必要資料を他機関から取寄せる (複写を含む) -国内	8.6 3	1 5.1 3	2 3.6 3	2 7.7 2	4 0.0 0
			2 7.8 5	2 4.9 3	3 2.0 7
〃 一国外	3.6 3	6.9 4	1 6.8 1	3 1.8 1	4 7.7 2
			1 6.6 8	3 0.8 9	4 5.4 7
題名や著者のわかっている文献の所在調査	1 3.1 8	1 6.4 3	2 2.7 2	2 4.0 9	4 0.0 0
			3 1.5 1	2 1.7 7	3 0.2 7
手持ち文献の複写	1 5.4 5	3 4.2 4	1 7.7 2	2 5.0 0	4 1.8 1
			1 9.2 3	1 6.3 7	3 0.1 4
知りたいと思っている事項についての文献の探索	8.1 8	8.1 8	2 2.7 2	2 7.7 2	4 1.3 6
			2 3.6 3	2 8.1 0	4 0.0 7
学術論文索引の作成・配布	4.5 4	3.2 2	1 0.0 0	3 1.8 1	5 3.6 3
			1 0.7 9	3 3.7 4	5 2.2 3
文献情報の迅速・組織的な検索サービス (電算機等)	2.7 2	2.1 0	8.6 3	3 0.9 0	5 7.7 2
			7.6 9	3 7.2 2	5 2.9 7
そ の 他	2.7 2	1.2 4	6.8 1	1 5.0 0	7 5.4 5
			7.0 7	1 3.8 9	7 7.7 9

17. (希望事項) : あなたの大学において、次のサービス事項の実施をどの図書館 (室) に希望しますか。下記の表のサービス事項ごとに該当の数字を1つ選んで下さい。

サービス事項 \ 図書館別	教室・研究室図書室に	学科・学系図書室に	部局図書室 (館) に	中央図書館に	そ の 他 (センター等) に	希望しない
新着図書雑誌リストの作成・配布	10.90 26.48	7.27 16.56	43.63 29.90	12.72 5.21	2.27 1.05	5.00 10.35
新着雑誌の目次集 (コンテンツシート) の作成・配布	10.45 24.50	6.36 18.61	42.27 28.66	11.36 4.40	3.63 1.55	6.81 11.78
必要資料を他機関から取寄せる (複写を含む) -国内	8.18 20.03	8.63 15.07	39.54 35.91	22.72 10.23	2.27 3.34	1.81 3.97
〃 一国外	7.72 18.17	7.27 13.95	37.72 32.56	24.54 13.02	2.27 3.84	1.81 6.14
題名や著者のわかっている文献の所在調査	6.81 19.85	8.18 15.69	39.54 32.00	19.54 10.91	1.81 3.16	3.18 6.51
手持ち文献の複写	20.90 29.82	6.81 12.22	37.27 17.43	5.90 1.79	2.27 1.86	5.45 12.77
知りたいと思っている事項についての文献の探索	7.27 16.99	9.09 14.20	34.09 28.66	15.00 10.35	2.27 5.95	9.09 11.10
学術論文の索引の作成・配布	8.18 12.34	6.81 12.59	32.27 23.57	13.18 10.23	5.00 6.07	8.63 17.12
文献情報の迅速・組織的な検索サービス (電算機等)	4.09 8.25	6.36 8.43	23.63 23.20	23.63 21.83	5.00 10.73	8.63 11.16
そ の 他	2.72 3.97	3.63 3.41	10.90 7.94	4.09 3.28	1.36 1.55	7.72 10.85

第3回日米大学図書館会議開催さる

日米両国における大学図書館が共通に直面している諸問題を、はば広い観点から研究討議して協力を深めるため、第1回の日米大学図書館会議（Japan-U. S. Conference on Libraries and Information Science in Higher Education）が東京で開催されたのは、1969年であった。第2回は会場をアメリカに移し、1972年ウイシコンシン州ラシーンで開かれ、第3回が1975年10月28日から31日まで国立京都国際会館で開催された。

地もとの関係もあって、本館が同会議開催のための実行委員長として、市内及び近畿地区所在の各大学図書館の協力のもとに、会議の準備にあたった。

第3回会議のプログラムは次の通りである。

第1日（10月28日）

- 10.30-12.00 開会式（経過報告、祝辞）
- 13.30-14.30 基調報告
- 14.30-16.10 図書館の全国的ネットワーク
- 16.10-17.00 主題別の全国的ネットワーク
- 17.30-19.30 レセプション

第2日（10月29日）

- 10.00-12.00 図書館協力活動のための標準化
- 13.30-17.00 部会討議
 - 第1部会 図書館の全国的ネットワーク
 - 第2部会 図書館協力活動のための標準化

第3日（10月30日）

- 10.00-12.00 研究者の情報要求と図書館資料の発展
- 13.30-14.00 同上つづき
- 14.00-17.00 図書館の施設、建築と職員

第4日（10月31日）

- 9.30-12.00 部会討議
 - 第3部会 研究者の情報要求と図書館資料の発展
 - 第4部会 図書館の施設・建築と職員
- 13.30-15.00 全体会議（閉会式）

なお、参加者は米国側25名、日本側は286名であった。

経済学部「閲覧室だより」について

—— 定例閲覧室会議から誕生 ——

経済学部閲覧掛では第2・第4の月曜日、まだ利用者の少ない朝一番の僅かな時間を掛内での話し合いの場にあて、諸会議の報告や掛内でかかえている仕事上の色々な問題、また今後の仕事の進め方等について話し合うことにしているが、新館に移転して3年、約30万冊の蔵書をかかえ、古い歴史と慣行を持った我々の図書室では、ある面については改善し、或は整理していかなければならない蓄積された仕事が山積しており、現在の閲

覧掛ではこの話し合いの場は欠くことのできないものになっている。

昨年秋のある日の話し合いの時、掛員不足の現状での経済学部閲覧掛のあり方や役割について話が進んだ。意見百出、その中から皆が出した結論、それは色々な悪条件の中でも何とか利用者にとって使いやすい閲覧室でありたい。それにはどうすればよいか、先ず利用者とのコミュニケーションを良くすることも一つの方法であろう。しかし云

うは易いが、これをどのような方法で実行していくかが問題となった。やはり第一に利用者が我々経済学部閲覧掛をどのように見ており、何を望んでいるかを知る必要がある。一方我々には我々なりに意見百出して、より良い閲覧室づくりに努力している事実も利用者に知ってほしい。では利用者と閲覧掛とのパイプ役をつとめてくれる新聞のようなものを出してはどうか、新聞の発行については全員賛成、さて実行にうつすとなると、ここでまた色々な問題が出てくる。

1. 発行する以上、内容が充実しており、しかも面白くそして利用者にとって少しでも役にたつこと。
2. 一度発行すれば100号までも200号までも続けなければならない。
3. 予算の少ない経済学部にとっては経費が最少限度で発行できるような方法でありたい。
4. 閲覧掛の本来の仕事に差し支えないこと。

以上のような様々な要素についても真剣に検討の上、全員で協力して実行することに踏み切った。このようにして誕生したのが「閲覧室だより」である。

先ず昨年10月9日準備号を発行し、250部刷ったが、4、5日で全部無くなってしまった。図書委員会にも発行の件を提出して了解された。また図書主任から学部の教官会議に報告されここでも了承を受けた。それに事務長から励ましの言葉を頂いたことも、我々のファイトをますます燃

やしてくれた。しかし何よりも掛員一同が感謝しているのは、原稿を利用者に依頼しても、経済学部は勿論、他学部の方々でも皆快く引受けて、率直な意見や感想を書いて下さったり、おりにふれて聞かせて下さったりすることだ。

このような恵まれた形でスタートした「閲覧室だより」も、第1号を11月に発行以後回を重ねて5号になった。色々な学部からボツボツ反響が聞えてくるようにもなってきた。これも我々には良い勉強になっている。ついでながらこの紙面をおかりして、今後共お気付きの点やご意見をどんどんお聞かせ下さいとお願いしておきたい。

さて、今後「閲覧室だより」はどのような方向に進んでゆくのだろうか。「新学期の4月には利用案内をのせては……」と図書主任からアドバイスも頂いている。また経済学部大学院経済学研究科発行の「授業計画及び講義概要」に出ている各教官が演習の教材に利用される教科書、指定書、参考書の所在調査をおこない、のせるのも利用者には便利であろう。このように時期に応じた記事も出すつもりである。利用者の声もなるべく毎号のせてゆきたい。閲覧掛で書庫等の整理計画をたてた時には、利用者に知らせる役目もしてもらおう。閲覧室会議では「閲覧室だより」の将来構想に色々と夢の花が咲いている。ともかく無理をせず、しかし号を重ねるごとに、ますます内容の充実したものにしていきたいと掛員一同腕をならせている。(経済学学部閲覧掛 内藤昭子)

バイルシュタインの有機化学ハンドブックについて

工学部教授 安藤 貞一

御紹介したい。

バイルシュタインの有機化学ハンドブックが本年4月から付属図書館に備えられることになったのを機会に、このハンドブックについての概略と、これが付属図書館に備えられるに至った経緯とを

「バイルシュタイン」と通称されるこのハンドブックは、いやしくも有機化学の分野に関わる研究者である限り、その名を知らぬものはないであ

ろうと思われるくらいに有名な叢書で、有機化学系研究者のほとんどすべては、すくなくとも何度かは、これを手がかりとして文献を検索した思い出をもっているに違いない。

母体となったのは、1920年(1921年?)から1937年にかけてドイツ化学会から刊行された“Beilsteins Handbuch der organischen Chemie, 4. Auflage”で、ふつう Hauptwerkと呼ばれ、全29巻(索引2巻を含む)より成る。1910年1月1日までの文献に記載されたすべての有機化合物を構造上の特性から4877のクラスに分類して各クラスに属する化合物を炭素数の順に整理し、その構造式、物理定数、製法反応、誘導体の性質などを記述したもので、それぞれに原論文の引用がある。

この刊行が当時の有機化学系研究者にもたらした恩恵ははかり知れないものであったが、世界中のすべての資料にもとづく完全なハンドブックをめざす刊行者としては、当然その後の研究の進歩と研究領域の拡大とによって生み出される莫大な量の情報を補遺として刊行供給する必要に迫られざるを得ない。

その結果として生まれたのが第1、第2、第3および第4補遺(それぞれ erstes, zweites, drittes, viertes Ergänzungwerk と呼ばれ、分類法、巻数などすべて Hauptwerk の方式を踏襲している)であって、第1補遺は1910～1919年の文献を資料として1929～1938年に、第2補遺は1920～1929年の文献を資料として1941～1955年に(第2次世界大戦のため1945～1947年は中断)刊行された。第3補遺の1～16巻は1930～1939年の文献を資料として1958年以来刊行中、第4補遺の1～16巻は1940～1949年の文献を資料として1972年以来刊行中であり、また第3補遺の17巻以降は第4補遺の17巻以降と各巻ごとに合冊の形で1930～1959年の文献

を資料として1974年以来刊行中である。

なお、刊行者は第2次世界大戦後ドイツ化学会からそれまでの編集責任者であった F. Richter の手に移り、さらに第2補遺完成後は Beilstein-Institut für Literaturen der organischen Chemie にひきつがれて現在に至っている。

このように、バイルシュタインは有機化合物に関する過去の研究成果の集大成である。最新の刊行にかかる補遺ですら1959年までの情報しか含まないのだから、1976年という現在からみればもはやその必要性はうすいとする議論もないではないが、たとえ1959年までであるにしても、これほど完全な、これほど網羅的な、これほど信頼し得る情報源は絶対に他には求められない。

その意味で、バイルシュタインは有機化学者にとっては不可欠といってもよい存在であり、従来有機化学系の研究室をもつ教室や研究所ないし部局ではほとんど例外なくこれを図書室に備えてきたのであるが、何分にもその購入費用がぼう大であるため、この10年の間に、涙を吞んで購入を中止するところが相ついだ。

筆者の所属する教室(工学部工業化学教室)では、他教室、他部局の利用者の数が多いこともあって、高額な購入費の負担に喘ぎながらも辛うじてその購入を継続してきたが、昨年度以来遂にその費用は一教室で負担し得る限度を超えていると認めざるを得なくなった。

しかし、他に代えがたい価値をもつこのような基本的な図書が京都大学のどこにも備え付けられていないという事態を招くことだけは何としてみても避けなければならぬとの考えのもとに、昭和50年度以降の刊行分については付属図書館で継続購入していただくよう、工学部商議員奥島教授を通じて商議会にお願いしたところ、幸いに商議員の方々の御賛同を得ることができ、肩の荷をおろした感を味わっている。紙上を借りて奥島教授はじめ商議員および関係の各位にあつく感謝したい。

なお、従来工業化学教室で購入保管してきた分は、一括して付属図書館に移管され、付属図書館購入分とあわせて4月初旬以降一般の閲覧に供せられるはずである。この図書が関係者に広く利用

されることを願ってやまない。

(原稿を草するにあたり工業化学教室助教授内本喜一朗氏の御援助を得た。記して謝意を表する)

昭和50年度特別図書費による購入図書リスト

書名	冊数その他	備付部局	備考
Graffin, R., & Nau, F., eds.: <i>Patrologia orientalis</i> . Paris. Firmin-Didot.	36冊	文学部	
The American immigration collection. Repr. ser. 1: 41 books, ser. 2: 33 books. New York, Arno Press, 1969-1970	74冊	"	
杜詩叢刊	71冊	"	
Revue d'assyriologie et d'archeologie Orientale. v. 1-43. Paris, 1884-1949.	43冊	"	
Società e costume, panorama di storia sociale e tecnologia. v. 1-4, 6-8. Torino, U. T. E. T., 1973.	14冊	"	
Asiatische Studien (Etudes Asiatiques) Bd. 1-27. Bern, 1947-1973.	28冊	"	
東寺百合文書		"	マイクロフィルム
テヘラン大学中央図書館蔵 ペルシア語写本「11~16世紀歴史書」		"	マイクロフィルム
Freeman, A., ed.: <i>English stage; attack and defense, 1577-1730</i> . v. 1-34. Repr. New York, Garland, 1974.	34冊	"	
Arnauld, Antoine: <i>Oeuvres</i> . (Paris, 1775-83) Repr. Bruxelles, Culture et Civilisation, 1965-1967.		"	
Special reports on education subjects. Office of Special Inquiries and Reports. v. 10-28; 1902-1914.	16冊	教育学部	
Human development, v. 1-14; 1958-1971.	14冊	"	
Classics in psychology. Advisory ed.: Howard Gardner and Judith Gardner.	42冊	"	
Social service review. v. 37-47; 1963-1973.	11冊	"	

書名	冊数その他	備付部局	備考
American Association of University Professor Bulletin. v. 1-57/ # 3; 1915-1970.	57 冊	教育学部	
Teachers college record. v. 1-15; 1900-1914.	15 冊	"	
National Reporter System 1975.	1 セット	法学部	継 続
United States Law and Statutes. 1975.	1 セット	"	"
Sovremennik. t. 1-18; 1847-1849.	1 セット	"	
Journal of taxation. v. 1-40; 1955-1974.	1 セット	"	
Neue Politische Literatur. Jg. 1-18; 1957-1973. (Cont.: Politische Literatur. Jg. 1-3; 1952-1954)	21 冊	経済学部	
Tradition; Zeitschrift für Firmengeschichte und Unternehmerbiographie. Jg. 1-10, Beihefte 1-5; 1956-1964.	15 冊	"	
営業報告書集成, 第 2 次 (21) 保険 54 社ほか.	176 冊	"	マイクロフィルム
Beck, Ludwig: Die Geschichte des Wissens in Technischer und kulturgeschichtlicher Beziehung. Bd. 1-5; 1884-1903.	5 冊	"	
Rheinische Zeitung für Politik, Handel, und Gewerbe. Jg. 1-2; 1842-1843.	2 冊	"	
複刻日本古典文学館 第 1 期第 8 回配本	1 セット	附属図書館	継 続
Leonardo Codice Atlantico. v. 4-6	3 冊	"	"
1970 年世界農林業センサス		"	"